

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【公表番号】特表 2016-525605 (P2016-525605A)

【公表日】平成 28 年 8 月 25 日 (2016.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2016-051

【出願番号】特願 2016-528547 (P2016-528547)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/00 (2006.01)

C 0 8 G 18/18 (2006.01)

C 0 8 G 18/30 (2006.01)

C 0 8 G 18/65 (2006.01)

C 0 8 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/00 0 3 0

C 0 8 G 18/18

C 0 8 G 18/30 0 2 0

C 0 8 G 18/65

C 0 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 10 日 (2017.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

硬質フォームの製造方法であって、少なくとも 1 種のポリイソシアネートと、少なくとも 1 種のポリエポキシド、水及び少なくとも 1 種の他の水素酸性化合物を含む混合物との反応を含み、前記反応が少なくとも 1 個の窒素原子を有する無金属ルイス塩基の存在下で行われ、

その触媒が、1, 8 - ジアザビスクロ - 5, 4, 0 - ウンデセン - 7 - エン、N - メチル - N' - (ジメチルアミノメチル) ピペラジン、ペンタメチルジエチレントリアミン、メチルイミダゾール、並びに、これらの混合物及び誘導体からなる群から選択されることを特徴とする方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

少なくとも 1 種のポリイソシアネートと、少なくとも 1 種のポリエポキシド、水及び少なくとも 1 種の他の水素酸性化合物を含む混合物との反応を含む方法により得られる又は得られた硬質フォームであって、前記反応が少なくとも 1 個の窒素原子を有する無金属ルイス塩基の存在下で行われることを特徴とする硬質フォーム。

